

第16回大分県障がい者スポーツ大会について

1 開催日及び会場

▽4月4日(日):アーチェリー:別府実相寺アーチェリー場

▽5月16日(日):水泳:大分市営温水プール

▽5月22日(土):ボウリング:タワーボール植田店

▽5月23日(日):陸上:大分スポーツ公園昭和電工ドーム大分
フライングディスク:大分スポーツ公園昭和電工グラウンド

▽5月29日(土):卓球:大分県身体障害者福祉センター体育館

▽5月30日(日):ボッチャ:別府市総合体育館(別府アリーナ)

2 昨年大会からの変更事項

- ①新型コロナウイルス感染症防止対策として、総合開会式は実施しない方向で検討中。
 - ・実施する場合は、5月23日(日)大分スポーツ公園昭和電工ドーム大分にて開催する。
 - ・開会式への参加人数の制限やソーシャルディスタンスの確保、プログラムの見直しによる時間短縮など感染防止対策を講じる。
- ②ボッチャ競技の導入
 - ・令和3年度全国障害者スポーツ大会より、正式競技(個人競技)としてボッチャを導入。
 - ・参加枠は、立位・座位の選手各1名計2名の1チームとする。
- ③水泳の規則改正
 - ・スタート方法は、選手が水中スタートまたは飛び込みスタートを選択できる。
 - ・プールでのスタート台の使用については、(公財)日本水泳連盟の「プール水深とスタート台の高さに関するガイドライン」を遵守すること。
(前回:スタートにおいて「水中スタートしなければならない障害区分」が存在する。)